



2021年10月29日

各 位

会社名 伯 東 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 阿部 良二
(コード番号7433 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 中山 正弘
(TEL. 03-3225-8931)

通期連結業績予想および配当予想の修正並びに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年10月29日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月30日に公表した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想および配当予想を修正するとともに、剰余金の配当を決議いたしましたので、お知らせします。

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	167,000	4,000	3,800	3,000	145.71
今回修正予想（B）	185,000	6,500	6,300	4,400	216.19
増減額（B－A）	18,000	2,500	2,500	1,400	—
増減率（％）	10.8	62.5	65.8	46.7	—
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	165,413	3,806	3,603	3,064	148.91

（修正の理由）

売上高につきましては、電子部品事業において自動車、産業機器、通信機器を中心に半導体需要の拡大が続いており、電子・機器事業においても活発な半導体製造関連の設備投資により好調に推移しております。新型コロナウイルス感染の再拡大や世界的な半導体の供給不足の今後に与える影響も懸念されますが、現時点において前回公表値を上回る見込みとなりました。

利益面におきましては、売上高の増加に伴う利益の増加に加えて、主に電子部品事業の利益率の改善により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回公表値を上回る見込みとなりました。

（注）上記に記載した予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により上記予想値とは異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 30.00	円 銭 30.00	円 銭 60.00
今回修正予想		60.00	120.00
当期実績	60.00		
前期実績 (2021年3月期)	25.00	35.00	60.00

2021年3月期期末配当の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 10円00銭

(修正の理由)

当社は、2021年4月30日に中期経営計画「Change & Co-Creat 2024」を公表いたしました。資本効率の改善を経営上及び財務上の重要課題と位置づけ、計画期間中は配当と自己株式の取得により、総還元性向100%を目標とした株主還元を実施することを基本方針としております。

2022年3月期の通期連結業績が前回予想を上回る見通しとなりましたので、第2四半期末配当につきましては、普通配当を1株当たり60円とし、期末配当につきましても普通配当を1株当たり60円とすることを見込んでおります。この結果、年間配当予想は1株当たり120円、連結配当性向は55.5%となります。

(注) 上記に記載した予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は今後の様々な要因により上記予想値とは異なる可能性があります。

3. 剰余金の配当（第2四半期末配当）

当社は、2021年10月29日開催の取締役会において、以下のとおり、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しました。

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年4月30日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基 準 日	2021年9月30日	2021年3月31日	2020年9月30日
1株当たり配当金	60円00銭	30円00銭	25円00銭
配当金総額	1,208百万円	—	514百万円
効力発生日	2021年12月6日	—	2020年12月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

以 上